

## 2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース	教科担任			
地理歴史	世界史探究発展	2	3年次	内山 直希			
選択するときの条件	2年次に世界史探究を履修していること。						
使用教科書	山川出版社「高校世界史」	使用副教材	浜島書店「ニューステージ世界史詳覧」 とうほう「ウイニングコンパス 世界史の整理と演習」				
科目の目標			道徳教育のねらい				
世界の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、テーマごとに課題を設定し、歴史的な見方・考え方を活用し探究する活動を通して、国際社会に主体的に生きていく上で公民として必要となる資質・能力を育成することを目指す。			よりよい社会の実現を目指す国家および社会の形成者としての態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
学習活動内容		育てたい6つの力（資質・能力）					
		1	2	3	4	5	6
		主体的 学習力	基礎力	思考・ 分析力	発信・ 表現力	自己認知 ・協働力	計画 実行力
1	地球世界の課題Ⅰ						
	(1)20世紀前半の世界の振り返り						
1	第14章アジア諸地域の動揺						
2	第15章帝国主義とアジアの民族運動						
3	第16章第一次世界大戦と社会の変容						
4	第17章第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成						
5	(2)第Ⅳ部地球世界の課題						
	2 時間的・空間的にとらえる歴史						
6	(1)経済・社会の歴史						
7	(2)政治の歴史						
8	(3)宗教・文化・思想の歴史						
9	(4)国際関係の歴史						
10	3 地球世界の課題Ⅱ						
	ペアワーク・グループワーク						
	考査						
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめている。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意義、特色などを、年代、比較、現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、歴史的な課題を把握し解決に向けて考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。			世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしている。		
評価の方法	次の3観点において、各資料をもとに総合的に評価し、5段階の評定をする。また、各観点については、到達度により総合的に評価し、A・B・Cの3段階で評価する。						
	A: 目標に対する到達度が70%～100%		B: 目標に対する到達度が45%～69%			C: 目標に対する到達度が0%～44%	
	教科・科目における各観点	授業における取組		定期考査など		ノートやレポートなどの課題	
	知識・技能	○	◎		○		
思考・判断・表現	◎		◎		○		
主体的に学習に取り組む態度	○		○		◎		

# 世界史探究発展 授業計画

授 業 計 画				実施状況	
月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省
前 期	4	第12章産業革命と環大西洋革命(6) 第13章イギリスの優位と 欧米国民国家の形成(8)	・産業革命と環大西洋革命について、背景や相互の関連、意義について、多面的・多角的に考察し、表現する。・列強の対外進出による、アジア諸国の植民地化について、地図などを活用して理解する。 ・欧米国民国家形成の過程と、国際関係の変化について理解する。	第Ⅲ部へのアプローチ(0.5) 1 産業革命(1.5) アメリカ合衆国の独立と発展(1) 3 フランス革命とナポレオンの支配(2) 4 中南米諸国の独立(1)	
	5	<u>前期中間考査(1)</u>	・自由主義やナショナリズムの特徴などについて、多面的・多角的に考察する。 ・帝国主義による世界分割が、ナショナリズムにどのような影響を与えたのかを、多面的・多角的に考察し、表現する。	1 ウィーン体制と政治・社会の変動(2.5) 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成(3) 3 アメリカ合衆国の発展(1.5) 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄(1)	
	6	第14章アジア諸地域の動揺(4) 第15章帝国主義と アジアの民族運動(6)	・第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制・ワシントン体制の形成について理解し、諸地域世界の変容について多面的・多角的に考察し、表現する。	1 西アジア地域の変容(1.5) 2 南アジア・東南アジアの植民地化(1) 3 東アジアの激動(1.5)	
	7	第16章第一次世界大戦と 社会の変容(4)		1 第2次産業革命と帝国主義(2.5) 2 世界再分割と列強の対立(1.5) 3 アジア諸国の変革と民族運動(2)	
	8	<u>単元テスト(1)</u> 第17章第二次世界大戦と 新しい国際秩序の形成(3) 第IV部地球世界の課題 第18章冷戦と第三世界の台頭(3) 第19章冷戦の終結と今日の世界(4)	・第二次世界大戦の原因・経過・影響について、多面的・多角的に考察する。 ・地球世界の課題について、探究する活動を通して、課題を解決する取り組みについて理解する。 ・地球世界の課題について、自ら主題を設定して探究する。	1 第一次世界大戦とロシア革命(1) 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国(1) 3 アジア・アフリカ地域の民族運動(2) 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊(1) 2 第二次世界大戦・3 新しい国際秩序の形成(2) 第18章冷戦と第三世界の台頭(3) 第19章冷戦の終結と今日の世界(4)	
	9	<u>探究課題(5)</u>	・課題を設定し、調べた結果について議論することで、考察を深める。	課題探究活動(20) 例) 女性の視点から世界を考える 例) 子どもの視点から世界を考える 例) 環境問題から世界を考える 例) 都市から考える世界史 など	
	10	<u>探究課題(5)</u>	・課題を設定し、多面的・多角的に考察し、発表する。		
	11	<u>探究課題(5)</u>	・課題を設定し、調べた結果を議論することで、考察を深める。		
	12	<u>探究活動のまとめ(5)</u>	・探究活動を行うことによって、現代世界における諸課題を解決していこうとする態度を身に付ける。		
	1		・地球世界の課題について、探究する活動を通して、課題を解決する取り組みについて理解する。		
後 期					